

学校だより 本荘 Smile 2024

令和6年度 第2号
令和6年4月10日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

令和6年度始業式のお話。「やさしさ」「そうじ」「あいさつ」この三つを大切にしましょう。

令和6年度の始業式は、やる気にあふれたスタートとなりました。まず、6年生が張り切っています。3月まで一緒ががんばってきた先輩たちが卒業し、次は自分たちであることを十分に理解しているのでしょう。他の学年の子どもたちの手本となるような振る舞いが光りました。始業式の話の中でも、「6年生のみなさん、がんばりましょう」と聞いた時にも、すばらしい返事をしてくれました。その6年生の返事を手本として、「本荘小のみなさん、がんばりましょう」と声かけすると、体育館中に「はい!!!」というきれいな返事が響き渡りました。さすが本荘の子どもたちですね。



私は本校に赴任して4年目になりました。4年生と同じです。このような伝統のある学校に4年も校長として働けることは、大変光栄なことと感じています。改めてよろしくお願い致します。

では、4年目は子どもたちに何を伝えていけばよいのか考えました。子どもたちには、新しい考え方や情報も必要です。これから未来に向かって成長していく子どもたちですから、当然のことでしょう。しかし、古くから伝わることにも大切なものがたくさんあります。「不易流行」「温故知新」などの四字熟語にもその大切さが伝えられています。

考えた末に、シンプルに大事なことを伝えていこうと考えました。ですので、今年度の教育スローガンは「思いやりの心と笑顔で“学校が楽しい、授業が楽しい、みんな大好き”本荘小」というわかりやすいものになっています。そして、始業式の話でも、シンプルに大事なことを伝えていきます。

大切にしてもらいたいことを3つだけ伝えました。一つ目は「やさしさ」です。相手のことを受け入れること、すべての友達を大切にすること、やさしさのいろいろな側面を話しました。「思いやりの心」が大事だと伝えてあります。

二つ目に「そうじ」です。基本的に本荘小学校の子どもたちは、お掃除にも一生懸命です。わざと掃除をさぼったり、そのことが原因でけんかが起こったりすることは、ほぼありません。だからこそ、レベルアップするために「無言掃除」に取り組んでほしいと伝えました。無言掃除は、子どもたちが意識しないとできません。自分で考え、注意されるからではなく、自らが掃除に集中するために、あえて「無言」を選択することが重要なのです。だまっただまの強制的な掃除、暗いイメージとの批判がないとは言えないようですが、私は自分自身が選択・判断して「無言」を選ぶところに教育的価値があると考えます。必要な時には話してよいのです。「ごめんなさい、ちりとりをとってくれる？」というような会話はむしろ積極的にするべきでしょう。子どもが自ら考えた結果、学校がきれいになればよいのだと思います。

(裏面に続きます)

三つ目に、「あいさつ」について話しました。本荘小の子どもたちは、あいさつが上手です。「あいうえお」いっぱいのできる学校ですから、当然と言えば当然です。「あいうえお」の一番に来ているのが「あいさつ」ですから子どもたちも毎日意識していることです。だからこそ、取り上げました。得意なこととはもっともっと伸ばすべきです。私は指導者として大事にしていることに、「短所を直すより、長所を伸ばす」ということがあります。苦手なことを無理強いするのではなく、上手なことで活躍をしながら自信をつけていった方が、いろいろなことに前向きになると思うのです。前向きになったことは主体的な学びに向かうはずで、ですから、「あいさつ」をもっと伸ばそうと思うのです。

この三つのことをシンプルに子どもたちに伝えました。これから、子どもたちが意欲的にチャレンジしてくれればと願う校長先生なのでした。(校長)

校長先生の虫眼鏡「始業式のお話 やさしさ、そうじ、あいさつ」

令和6年度 1学期の始業式の講話

おはようございます。いよいよ今日から令和6年度がスタートします。

1年生は2年生になりました。2、3、4、5年生はそれぞれ3、4、5、6年生になったのです。校長先生も4年生になりました。今日は一人一人にとって、新しいスタートになります。

校長先生は、いつもと同じように正門前でみなさんを待っていましたが、朝からのみなさんの表情はとても輝いて見えました。

それもそのはず、皆さんは、1つ上の学年になったのですから、きっと、いろんなことをがんばろうとはりきって今日登校してきたことと思います。その張り切った気持ちを忘れないで、去年よりも、さらにすてきな1年に、みんなでしていきたいなあと思っています。そのためには、元気な気持ちが大切です。気持ちは、返事に表れます。みなさん、新6年生の返事を聞いてみてください。

「6年生のみなさん、がんばりましょう。」「はい!!」

さすがでしょう。さすが、リーダーの学年です。これをお手本にしてみましょう。次は全員で、「本荘小のみなさん、がんばりましょうね。」「はい!!!」(先生方から拍手がおきました 笑)

すばらしい元気が、こだましましたね。さすが、歴史と伝統ある本荘小の皆さんです。ありがとう。

さて、校長先生は、この本荘小学校をもっともっと素敵な学校にしたいので、みなさんに大切にしてもらいたいことが3つあります。今から言います。

一つ目は、「やさしさ」です。人にやさしく、相手のことを受け入れることのできる子どもに育ってほしいのです。そして、毎日の学校生活の中で、すべての友達を大切にしていきましょう。温かなクラス、温かな学校だったら、誰もが勉強するのが楽しくなります。お友達が困ったり悩んだりしているときは気づいて声をかけてください。みんなで支え合ってください。でも、毎日一緒に過ごしていたら、時々友達とトラブルになったり意見の食い違いが出てきたりするかもしれません。そんなときは、しっかりと友達の言い分も聞いて話し合ったり、先生に相談したりして解決していくようにしましょう。どんなに腹が立っても嫌でも、いじめは絶対にしてはいけません。許しません。ですので、思いやりの心を毎日しっかりランドセルに詰め込めこんで、協力し合い、助け合って過ごしてください。校長先生がいつも言っている「思いやりの心」が大事です。

二つ目は、「そうじ」です。本荘小学校でやってもらいたいことがあるのです。それは、無言掃除です。無言で掃除をすれば、お話をしながらするときよりもっと一生懸命に掃除をして、学校が美しくなります。学校や教室が美しくなれば皆さんの心もきっと爽やかになると思います。

最後、三つ目は、「あいさつ」です。一つ上の学年になった皆さん、今まで以上にあいさつが上手になりましょうね。例えばね、たとえ、言葉は通じなくても、あいさつをすれば、世界中の人とも心を通じ合わせることができるのですから。新しい先生方にも本荘小のみなさんが、挨拶が上手だということを示してくださいね。なにしろ、「あいうえお」いっぱい一番初めの「あ」はあいさつなのでからね。

この3つができるようになると、本荘小学校は、さらに素敵な学校になっていくでしょう。みんな一人一人がその役目を担っているのです。先生たちも一生懸命にがんばりますから皆さんも、この一年張り切って過ごしていきましょう。

令和6年度も思いやりの心で笑顔の本荘小にしましょう。これで校長先生の話を終ります。